

校章の由来



白砂青松の海辺に群生するハマゴウの4枚の葉を基底にして、松の葉を三方に配し、波と砂とをもって図案化した。

ハマゴウの葉は、めざす子ども像にふくまれる……じょうぶな子、仲よくあそべる子、よくはたらく子、自分のことは自分でする子……の四つの内容の広がりとして、それらの調和的な発達を、そして、松の葉は、小学部・中学部・高等部の3学部が互いに手を取り合って伸びていく姿をそれぞれ表象するものとした。

また、砂は純真な子どもたちの心を、波は子どもたちに対して行う教育の不断の営みを表すものとした。

(図案 初代校長、故 川崎志信)

※校名変更により、「北養」の文字を「北」の一文字にした。